

22

水戸日建工科専門学校 2年

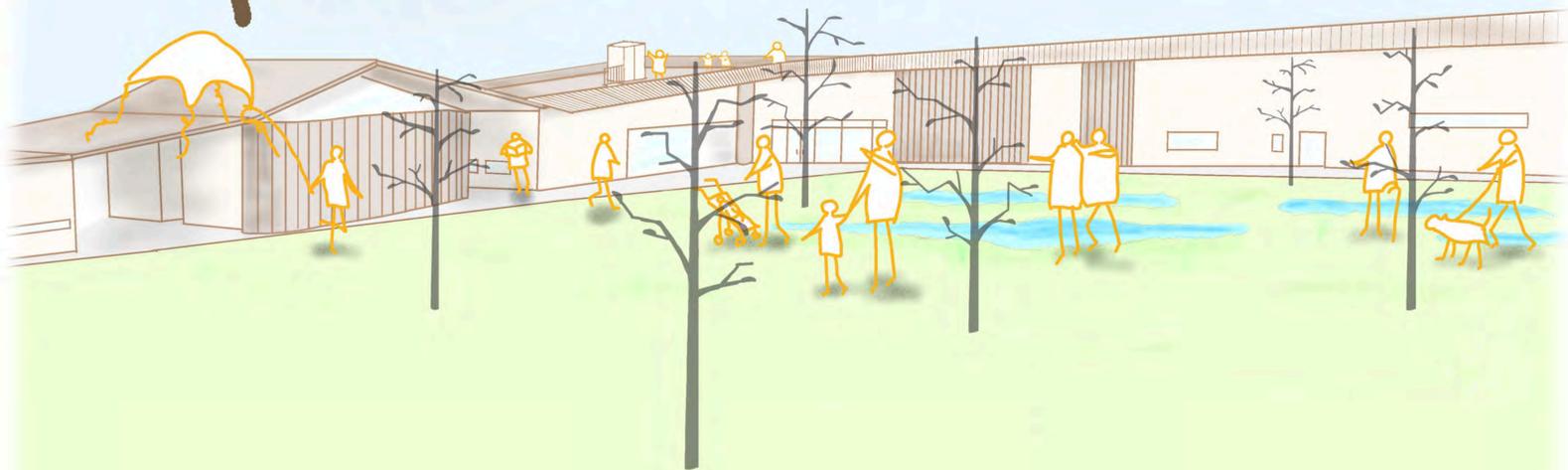
生駒 麗

たまり



なまじ

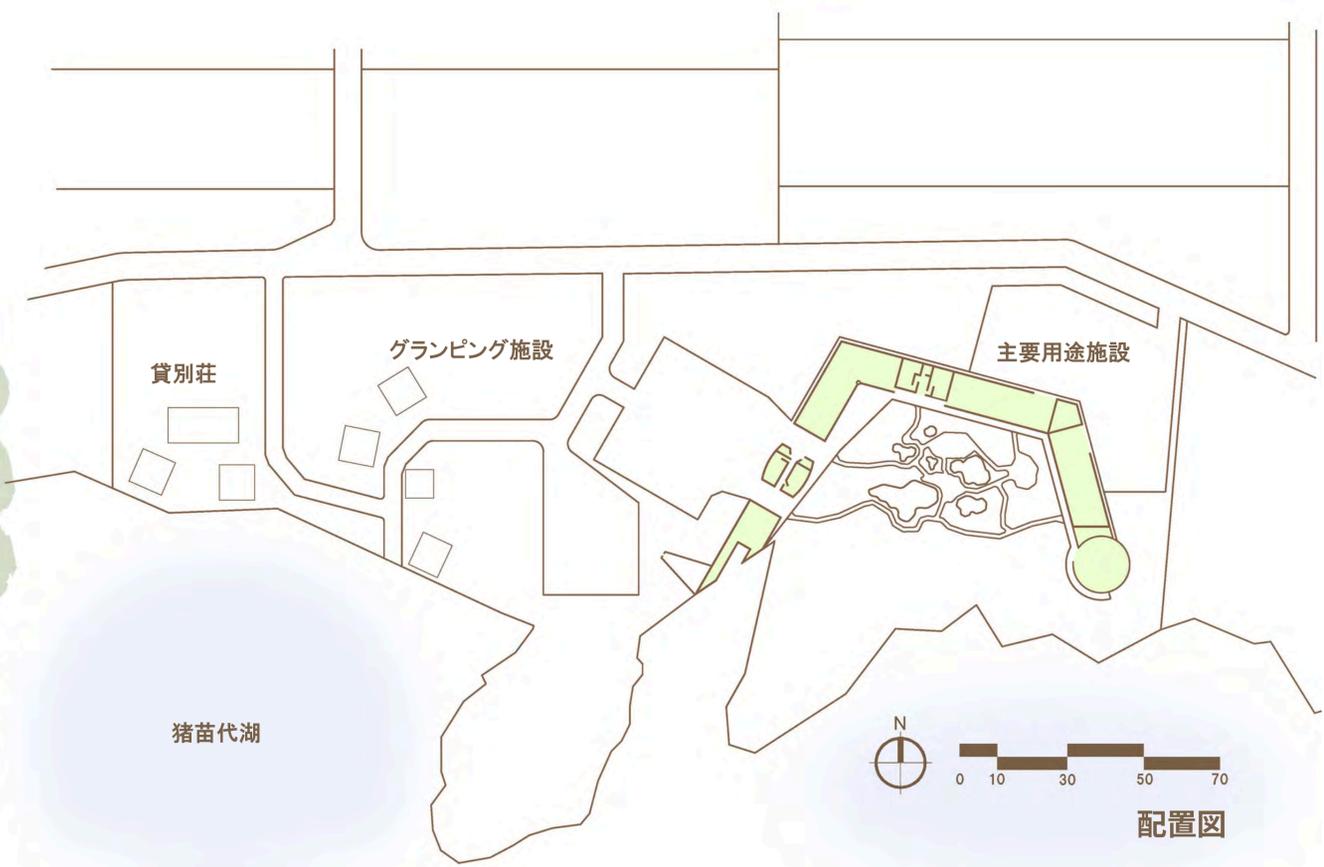
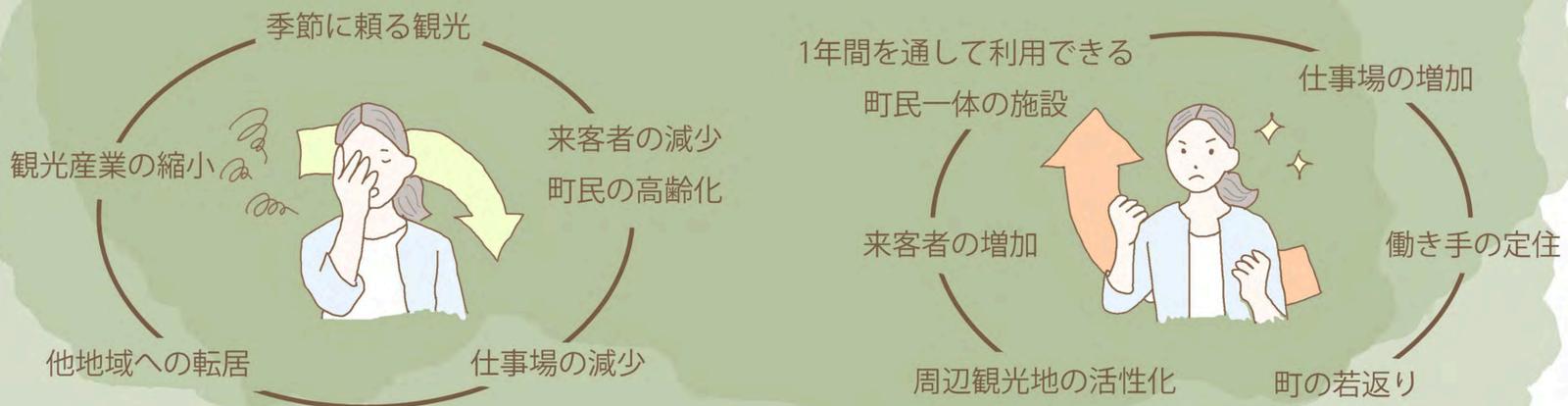
水戸日建工科専門学校 生駒麗



福島県耶麻郡猪苗代町長田南烏帽子付近

猪苗代町の周辺地域には多くあるが、
主には冬のスキースノーボード、夏のレイクレジャーが中心だ。

町の人口増加や若返りを計るために、
季節を問わない町民一体となって利用できるレジャー施設を計画し、
観光地の新たな人をつなぐ場・たまる場を設けたいと考えた。

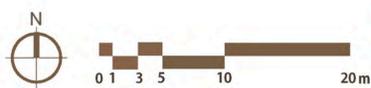


- ・屋根勾配を1/12~1/15にし、足腰への負担を考慮。
- ・陸屋根を合間に設けることでその一部を休憩スペースとし、人のたまり場・交流の場として活用する。
- ・湖から見る建物の見え方も考慮し、背面の山並みとの調和を図った凹凸屋根。

 地面から
 レストラン内から

植栽やベンチを設けることで、単純な道のりになるのを防ぐとともに、「展望台までの通過点」ではなくその地点ならではの景色を楽しみ、過ごし方を作りだすことができる。

地面から始まる屋根は歩行することができ、散歩気分を味わいながら磐梯山などが連なる山並みや猪苗代湖に景色を眺められる。



屋根伏図

平面図

-  陸上アプローチ(利用者)
-  水上アプローチ(利用者)
-  搬入・管理側アプローチ

断面兼パース



カフェへの水上アプローチから望む

- ・猪苗代湖からの利用者を歓迎するように建物の中に入り込む船着き場。
- ・船着き場を囲むガラス面からは湖の様子をうかがうことができる。
- ・奥には雄大な山々が連なり、屋根面の凹凸と調和する。



展望台上空から遊歩道を望む

- ・展望台からは猪苗代町の景色、山々、湖、すべての景色を360度見渡すことができる。
- ・屋根面から眺める煌めく星空やいなわしろ花火大会は別格で最高の特等席であり、最高の思い出となるであろう。



展望台上空から眺める広場

- ・日中のたくさんの陽の光が差し込む広場には、多くの子供たちが遊びまわり、イベントが開催されたたくさんの人で賑わいを見せる。
- ・それぞれがそれぞれの時間と空間を使い、観光客には普段と違った体験を与え、町民には普段の日常生活の一部として利用する。

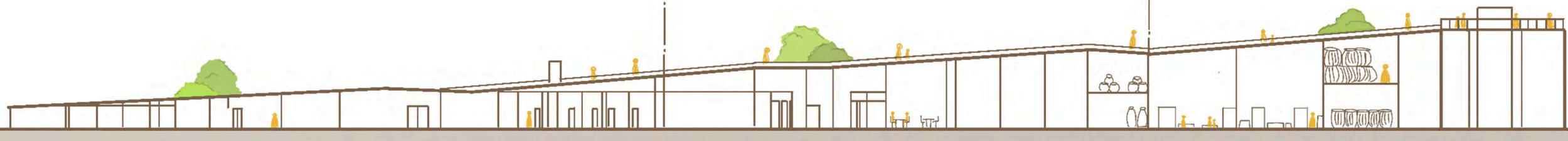


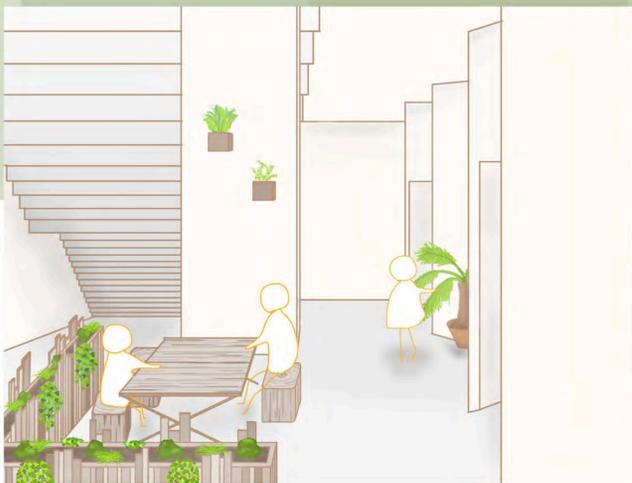
カフェ屋根面から眺める広場

- ・夕暮れから夜にかけては、西日と猪苗代湖に反射する夕日で白色の壁面が茜色に染まる。
- ・夜は木々のような街灯が広場を照らし、建物内から明かりが漏れ、昼間とは一味違った空間へと変化する。

▽折線

▽折線





レストラン

- 半個室の空間を設けることで、プライベートな空間を過ごすことができる。
- レストラン内に屋根までの階段・エレベーターを設け、食事を購入し展望台までの散歩道で景色を眺めながら食事を楽しむことができる。



カフェ

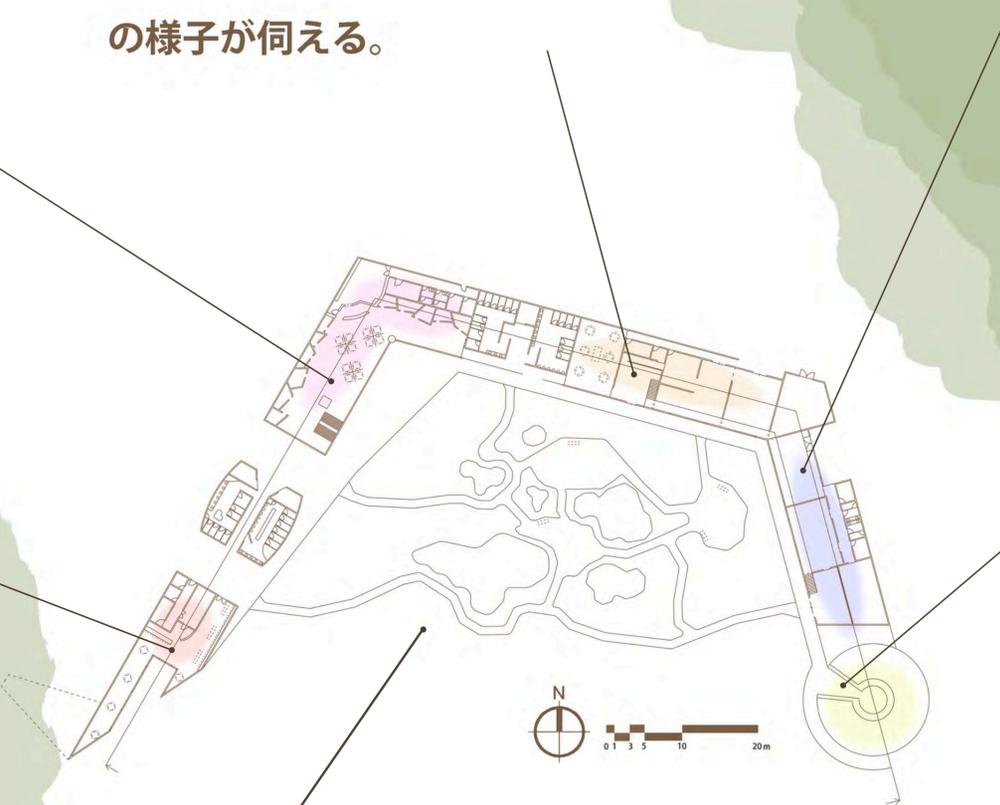
- 広場に向かってカウンター席を置き、広場の自然や湖、イベントを楽しむ人々を眺められる。
- 陸上通す以上の2つのアプローチを設けることで、通常の利用者はもちろん、レクリエーションを楽しんでいる人にも気軽に利用できる施設とした。

味噌工房（販売スペース）

- 福島県の名産品である会津味噌や地元で製造された味噌などが販売されている。
- 味噌づくり体験スペースと隣接しているため、体験の様子が伺える。

酒蔵（貯蔵スペース）

- 味噌工房から続く見学通路から眺めた貯蔵スペースのイメージ。
- 福島県の風土ならではの酒を貯蔵。



- 親水池をめぐりながら各用途へと導く通路。
- 青々とした芝生と日の光を取り込み煌めく親水池は人の心を穏やかにさせる。



展望台アプローチ

- 展望台頂上へのエレベーターまでの通路のイメージ。
- 通路は奥に進むほど狭まっていき、利用者を引き込むような仕掛けになっている。
- 両側には、四季折々の木々や花が咲き外とはまた違った華やかな空間に変化する。

北西側立面図

南側立面図



模型写真

